

ヴィヴァルディ盤を聴く(9)(HP 収載)  
—最新アナログシステムでの試聴(9)—

1. 始めに

[LINN LP-12 の再構成\(35\)](#)および[ThorensTD124 の再構成\(1\)](#)で報告しましたようにこれらのアナログシステムの大幅な変更を行い、バッハ、テレマン、ヘンデルのアナログ盤を聴き直してきました。今回もヴィヴァルディ盤を聴いてみることにしました。

2. ヴィヴァルディのアナログ盤の試聴方法

試聴システムは、LINN LP-12 の再構成(35)および ThorensTD124 の再構成(1)で報告したとおりであり、バッハのアナログ盤をレーベル毎、録音年代毎に整理して、LINN LP-12 と ThorensTD124 のいずれか、または両方で聴いていきます。その後、さらにアンチスタティックの効果(1)とアンチスタティックの効果(2)で報告したようにレコードアンチスタティックも加わり、今回も、スピーカーアキュライザーの出力側のマイナス端子に Crstal EpY-G をセットしています。また、今回も Magic Mat II の導入(2)で報告した Magic Mat II を使用しています。

今回は、次のヴィヴァルディ盤を聴いていきます。

PHILIPS 6599-130

アントニオ・ヴィヴァルディ ヴァイオリン協奏曲ホ長調「春」  
ヴァイオリン協奏曲ト短調「夏」  
ヴァイオリン協奏曲ヘ長調「秋」  
ヴァイオリン協奏曲ヘ短調「冬」

イムジチ

PHILIPS 6599-131

アントニオ・ヴィヴァルディ ヴァイオリン協奏曲変ホ長調「海の嵐」  
ヴァイオリン協奏曲ハ長調「歓び」  
ヴァイオリン協奏曲ニ短調  
ヴァイオリン協奏曲ト短調

イムジチ

PHILIPS 6599-132

アントニオ・ヴィヴァルディ ヴァイオリン協奏曲ニ短調  
ヴァイオリン協奏曲変ロ長調「狩り」  
ヴァイオリン協奏曲ニ長調  
ヴァイオリン協奏曲ハ長調

## イムジチ

### 3. ヴィヴァルディのアナログ盤の試聴結果

上記は、前報(7)結果から、オランダ盤ということで TELDEC、R、第 4 時定数 Mid でしたので、その条件で聴いていきます。

上記の 3 盤は、「和声と創意の試み」という題が付されており、四季は、その最初の盤です。

PHILIPS 6599-130 盤の四季は、音源の比較試聴(23)で報告済ですので、その再確認ということになりますが、TELDEC、R、第 4 時定数 Mid で音源の比較試聴(23)の確認が取れました。

PHILIPS 6599-131 盤は、TELDEC、R、第 4 時定数 Mid で聴いていきましたが、違和感はありません。いかにもヴィヴァルディらしいところがありますが、ところどころに 6599-130 盤の四季によく似た表情を見せてくれます。ヴァイオリン協奏曲変ホ長調「海の嵐」は、お馴染みの曲で、ヴァイオリン協奏曲ハ長調「歓び」は華やかな曲です。

PHILIPS 6599-132 盤は、TELDEC、R、第 4 時定数 Mid で聴いていきましたが、違和感はありません。これらも概ね 6599-131 盤と同様で、ところどころに 6599-130 盤の四季によく似た表情を見せてくれます。特にヴァイオリン協奏曲変ロ長調「狩り」は、6599-130 盤の四季の秋に似た表情を聴かせてくれます。

### 4. まとめ

LINN LP-12 の再構成(35)とアンチスタティックの効果(1)とレコードアンチスタティックやスピーカーアキュライザーの Crstal EpY-G や Magic Mat II の結果をトレースでき、これらのレーベルのイコライザー特性が特定できました。

以上